

市制施行40周年記念「お茶の京都博」エリアイベント



お茶とジャズ 一緒に味わう Chazz in 石清水八幡宮



- MC選曲のジャズを聴きながらお茶を嗜む来場者たち
- 演奏を披露する男山中学校吹奏楽部
- ジャズを演奏するプロ奏者たち



COCOLO)によるジャズの名曲と観光PRを交えたトークステージを楽しむなど、来場者たちは新たなお茶の楽しみ方を満喫していました。

京田辺市から家族で訪れた南雲慎さん(43)は「外で聴くジャズも気持ちいいですね。お茶もおいしいですし、こんな中で飲むとまた格別です」とこやかに話していました。

碾茶など嗜み満喫

お茶(Cha)とジャズ(Jazz)を融合した「Chazz in 石清水八幡宮」が10月9日、石清水八幡宮境内で開催され、約5000人の来場者がお茶を嗜みながらジャズ演奏を楽しみました。

このイベントは、市制施行40周年を記念するとともに、山城地域で展開される「お茶の京都博」のエリアイベントの一つとして市が主催。「新たなお茶の楽しみ方」を提案しようと、石清水八幡宮などの協力を得て開催されました。

メインステージでは、ジャズ歌手の杉山千絵さんらプロのジャズ奏者たちが出演。しっとりした雰囲気から軽快なテンポまでさまざまな

日本文学の傑作に触れる

まちの話題

10月13日、「徒然草エッセイ大賞創設記念講演」が文化センター小ホールで行われ、約130人が来場しました。

同講演は、市制施行40周年を機に市の魅力を全国へ発信する「徒然草エッセイ大賞」創設を記念して開催されました。

1部では同賞選考委員長の山折哲雄さん(国際日本文化研究センター名誉教授)が、「これからの徒然草」をテーマに講演、2部では堀口市長と対談しました。

講演では、「日本の文学

徒然草エッセイ大賞創設記念講演



講演する山折さん

「このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。」

の主流は日記文学にある」とし、これからの日本文学を考えるのに、日記文学の傑作として日常の無常観を表した「徒然草」を突き詰めることの有用性を強調。また、フランスでエッセイが重要視されていることにも触れ、「『徒然草』に新しい光を与えようという八幡市の試みは、世界文学史の上でも非常に重要な意味を持つ」と同賞に期待を寄せられていました。

同賞の募集は11月24日まで。詳しくは、広報やわた8月号か、専用ホームページ(<http://www.tsurezure-essay.jp>)をご覧ください。



1位でタスキをつなぐ阪口選手(左)(出雲全日本大学選抜駅伝競走組織委員会提供)

第29回出雲全日本大学選抜駅伝競走

東海大2年(男山三中出身) 阪口選手 区間賞デビュー

10月9日に開催された「第29回出雲全日本大学選抜駅伝競走」で、東海大2年の阪口竜平選手(男山三中)が大学初駅伝で1区区間賞を獲得し、チームの優勝に貢献しました。

序盤、想定よりスローペースな展開でも冷静にレースを進めた阪口選手は、残り2・5キロ地点でスパイット。しかし、他の選手を引き離す中、神奈川大の選手がついてくる苦しい展開に。レースも進み残り800キロ地点、沿道に両親の姿を見つけた阪口選手。「それが一番力になった」と先頭を譲らず、区間賞の走り

でタスキをつなぎ、チームも昨季大学駅伝三冠の青山学院大を抑え、10年ぶり4回目の優勝を飾りました。

大会を終えて、「初駅伝で区間賞を取って、『たまたまじゃないか』という声も上がると思う。次の全日本大学駅伝でも区間賞を取ることのできる力を証明し、他大学にとって怖い存在になりたい」と阪口選手。今後については、「今季三冠を狙えるのは、初戦を取った東海大学しかないのだから、そこを目指したい。その先には、東京オリンピックを見据えて頑張りたい」と話していました。

160人 笑顔で交流

八幡市障がい者スポーツ大会

10月7日、「第39回八幡市障がい者スポーツ大会」が市民体育館で開催され、雨で足元が悪い中でしたが、参加者約160人がスポーツを通じて交流しました。

同大会は、障がい者スポーツの振興と、多くの人と一緒に楽しみ、ふれあいを深めようと、市が主催し、多くのボランティア団体等の協力を得て行われました。



パン食い競走で交流する参加者

参加者たちは、紅白の2チームに分かれ、「パン食い競走」や「新聞破り競走」など、7種目に挑戦しました。

毎年一番人気となっている「パン食い競走」では、顔の高さに用いられるメロンパンなどを上手に口でくわえ、笑顔でゴール。参加者の全力プレーに呼応するように、会場内は、家族等からの声援が飛び交い、大盛り上がりでした。

紅組に参加した磯部治さんは「最近足が痛くてあまり運動できていなかったけど、徐々に動けて良かった。新聞破りが楽しかったです」と充実した表情を浮かべていました。